

第2回
金沢市民合唱団 サロンコンサート

賛助出演 横浜木曜会

平成 10 年 10 月 11 日 (日) 開演 14:00

金沢市文化ホール



主催 金沢市民合唱団 共催 金沢市中央公民館
後援 金沢市教育委員会

ごあいさつ

本日は多数のみなさまにご来場いただき心から感謝申し上げます。

金沢市民合唱団は1994年11月に発足しましたが、正式の演奏会は、96年に続き、第2回目のサロンコンサートとなります。とくに今年は名門の混声合唱団「横浜木曜会」のみなさんをお迎えすることができました。すばらしい演奏をご期待下さい。

高田三郎の名曲「雪の日に」、おなじみのロシアの曲をはじめ、女声、男声合唱、ピアノ独奏、ソプラノ独唱、横浜木曜会との合同演奏など六つのステージを用意しました。どうぞ、爽秋のひとときをお楽しみ下さい。

金沢市民合唱団代表 西脇 恵

出演者

指揮：中村 外治 ピアノ伴奏・独奏：小嶋美穂

ウッドブロック：掛下幸子（内灘中学校2年）

ソプラノ独唱：片岡のり子 ピアノ伴奏：押田真澄

ソプラノ

赤井 景子	加賀谷淳子	笠合八重子	喜多村由加里	桑本光津恵
越 栄子	柴山 働子	清水くに子	瀬川 七枝	谷内外美子
直川 節子	中嶋えり子	中本 富子	橋本 昭子	二口 久子
本多トモ子	松村 行美	南屋 貞子	森重恵美子	山内 昌子

アルト

荒川 祥子	井上 恵子	今井千代子	院瀬見正子	加賀谷啓子
金本 允子	北原 孝子	杉原 邦子	高島外美子	高田 洋子
反園紀美子	寺山 敬子	直野 和代	中村 隆子	西脇 瑞枝
新田美智子	東 喜美栄	日置 允子	丸山 寛子	水牧 悅子
宮村 尚子	森野 愛子			

テノール

池田 星一	大貫 真二	河原 進	窪田 明宏	鴻野 博司
鈴木 徳二	宮村 寿			

バス

池下 勲	上村 彰	大西 英一	奥村 次郎	梶原 信
中田 敏明	中村 博	西脇 恵	村田 清二	森田 義之
森田 唯				

※友情出演：金沢大学合唱団

テノールⅠ 加納 義朗（工学） 生澤 繁樹（教育）

テノールⅡ 星井 博昭（理学） 川面 哲平（文学）

バスⅠ 和田健一郎（工学） 佐藤 央盛（経学）

バスⅡ 田中 昌（工学） 大橋 陽介（工学）

フ回グラム

指揮 中村外治 ピアノ 小嶋美穂

プロローグ ピアノに寄す

秋山宗治 詩・中村外治 曲

I 混声合唱「六つの子守歌」より

いつもの子守歌

別役 実 詩・池辺晋一郎 曲

女声合唱

落葉松

野上 彰 詩・小林秀雄 曲

男声合唱組曲「雨」より

雨

八木重吉 詩・多田武彦 曲

男声合唱組曲「柳川風俗詩」より

かきつばた

北原白秋 詩・多田武彦 曲

混声合唱「心の四季」より

雪の日に

吉野 弘 詩・高田三郎 曲

II ピアノ独奏

小嶋美穂

「三つの夜想曲」より 愛の夢 第3番

リスト曲

III ソプラノ独唱

片岡のり子 ピアノ 押田真澄

舞 六代目菊五郎の娘道成寺によせて

深尾須磨子 詩・橋本国彦 曲

休憩

IV 混声合唱

横浜木曜会 指揮 松崎陽治

ピアノ 林 恵

唱歌メドレー ふるさとの四季

源田俊一郎 編曲

故郷 春の小川 霧月夜 鯉のぼり 茶摘み 夏は来ぬ

われは海の子 村祭 紅葉 冬景色 雪

V 混声合唱

指揮 中村外治 ピアノ 小嶋美穂

ポーリュシカ・ポーレ グーセフ 詩・橋本淳 訳・ニッペル 曲・中島良史 編曲

夜の鶯 デリヴィイグ 詩・アリヤビエフ 曲・小野光子 訳・編曲

カチューシャ サコフスキイ 詩・関 鑑子 訳・ブランデル 曲・中島良史 編曲

VI 合同合唱 横浜木曜会とともに

友よ

岩谷時子 詩・いづみたく 曲

見上げてごらん夜の星を

永 六輔 詩・いづみたく 曲・土屋公平 編曲

エピローグ 遙かな友に

磯部 健 詩・曲

曲目によせて

ピアノに寄す

昭和30年当時のこと、PTAや卒業生の絶大な協力によって、高校に新しいグランドピアノが届いた。その歓びの気持ちが、校長秋山宗治の詩心を動かし、音楽教諭中村外治の曲にそれが溢れ出ている。

いつもの子守歌

劇作家で詩人の別役実の美しい日本語の調べに池辺晋一郎が曲を付けた「六つの子守歌」より。平易な詩の行間から、おとなたちへの童話のストーリーが聴こえるようだ。ジャズ調のリズムを取り入れた曲づくりにも注目したい。

誰もいない空に

眠れない鳥が一羽おりました

誰もいない空に

風が吹きます……

落葉松

北原白秋は、落葉松の林の道をしみじみと歌ったのに比べ、野上彰は、落葉松に降る雨を叙情的に一人称の詩に詠んだ。やさしい言葉を深く受けとめ、正確な技術で歌いこなすこと、作曲家小林秀雄の信条である。

かきつばた

多田武彦が男声合唱曲として作曲。白秋が郷里柳河を詠んだ「思い出」の中に収められている。お国言葉を用い、花街の女のわびしさを、かきつばたに託した。

歌詩の「ONGO・オング」は、良家の娘、「ケエツグリ」は、かいっぷりの意。

雪の日に

高田三郎の最高傑作の一つで、7曲から成る混声合唱組曲「心の四季」の6曲目にある。いつまでも激しく降り続ける純白の雪に、人間の生きざまをだぶらせた吉野弘の詩に、曲がみごとに結実した作品である。

雪の上に雪が

その上から雪が

たとえようのない重さで

音もなくかさなってゆく……

と、雪を歌いながら、生きる者の切なさや、苦しみ、祈り、あこがれ、叫びをどう響かせるか、精神的持続力をも問われる作品と評されている。

愛の夢

第3番変イ長調、リスト39歳、1850年作。ショパンの夜想曲に似た美しい旋律を十分に聴かせる作品である。

舞 六代目菊五郎の娘道成寺によせて

深尾須磨子が、「娘道成寺」の絢爛豪華な舞台に感動し、そのイメージをもとに詩を詠む。昭和初期の時代背景から、女性の地位のありように精一杯の抵抗を表している。曲は歌舞伎の女形の語りをふんだんに取り入れ、歌とピアノが対等ともいえるほどに、序、破、急へ、華やかな舞台を舞い收める異色作である。

ふるさとの四季

混声合唱のための小学唱歌メドレーで「故郷」に始まり「故郷」で終わる11曲が歌われる。初演は1981年、川崎混声合唱団定期演奏会委嘱作品として演奏された。原曲の持ち味をそこなわずイメージをふくらませることができ、なんど歌っても魅力がある。文語体の詩の情感をつかみ、メドレーとしてつながりをうまく歌うことがポイントであろう。

(紙面の都合で、ほかの曲目は割愛しました)

賛助出演 横浜木曜会 プロフィル

基本理念は「心の伴うハーモニー」とし、昭和14年（1939）、故山根一夫氏とその仲間たちにより創設された。

現在は、松崎陽治氏が後継者として伝統を受け継ぎ、宗教曲をメイン・レパートリーに、ポピュラー曲など幅広く選曲し歌い続けている。自主演奏会の開催、各種合唱祭への参加、各種施設訪問演奏会など、多彩な活動を行っている。一方、合宿旅行、クリスマスの集いなどで、楽しく歌いながら、遊びの好きな集団である。

会長：遠山 裕之

指揮：松崎 陽治 **ピアノ伴奏：**林 恵

団員数 約65名

(今回の出演者)

ソプラノ

相澤 晴美	石川 耀子	江成 富子	北角 恒子	鈴木 恭江
澄田 潤子	武智 恵子	武知 令子	名塚 博子	馬場 和子
村山リン子	山方 正枝	山本瑞美子		

アルト

江頭 昭子	海老 和子	大館えい子	奥村喜代子	川原 和子
小出 順子	佐々木京子	澤田 弘子	関原 満江	堀井 玉代
松橋登茂子	三輪八重子	米納 洋子		

テノール

大澤 良蔵	佐野 雄二	志村 幸雄	鈴木 徳一	首藤 榮三
泊 留男	藤井 晖也	渕 健次郎	森田 正彦	山口 隆弘

バス

川原 敏令	川船 俊貞	黒澤 正和	斎藤 信治	高橋 勝
武智 昭	遠山 裕之	徳村 政治	並木 安正	本幡 孝良
門間 誠藏	山田 信一	山本 秀夫	湯浅 清	渡辺千代晴

事務所 神奈川県大和市下和田789-14 山口方 TEL 0462-67-7448

金沢市民合唱団へのお誘い



やさしい歌を 楽しく
ごいっしょに歌いませんか。初心者大歓迎
練習日は
毎週金曜日 午後7時から9時と
第2・第4・第5日曜日 午後2時から4時まで
場所は 金沢市中央公民館西町館で

TEL 261-8100

心のかようおもてなし



金沢ニューグランドホテル

金沢市高岡町(尾山神社正面・金沢市文化ホール前)

TEL (076) 233-1311